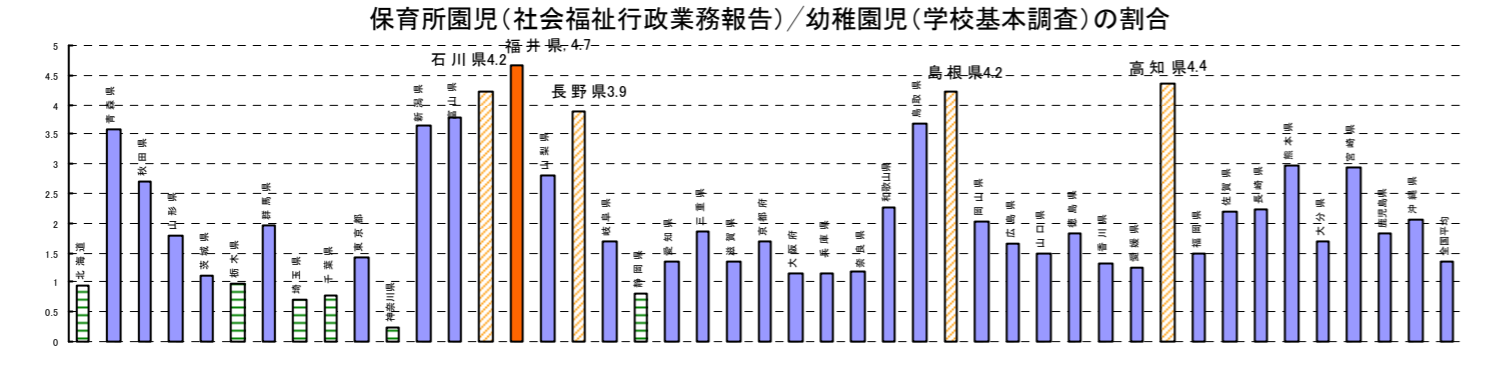
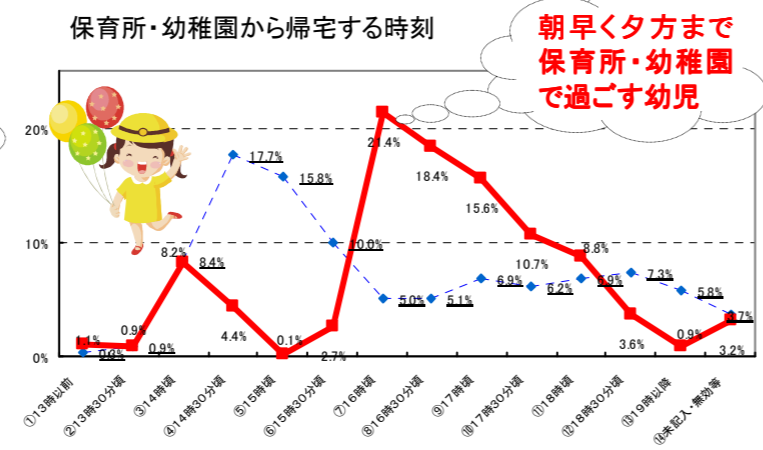
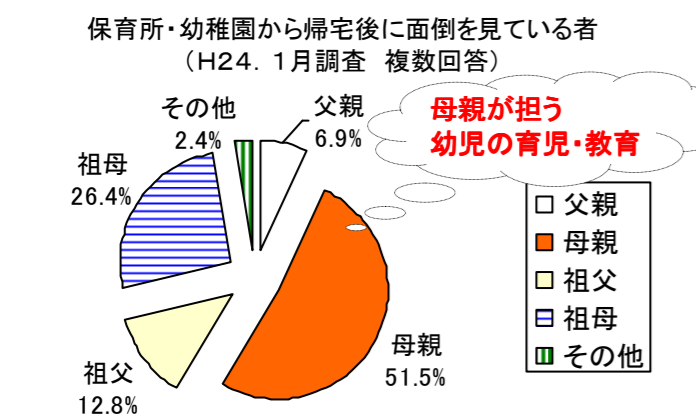
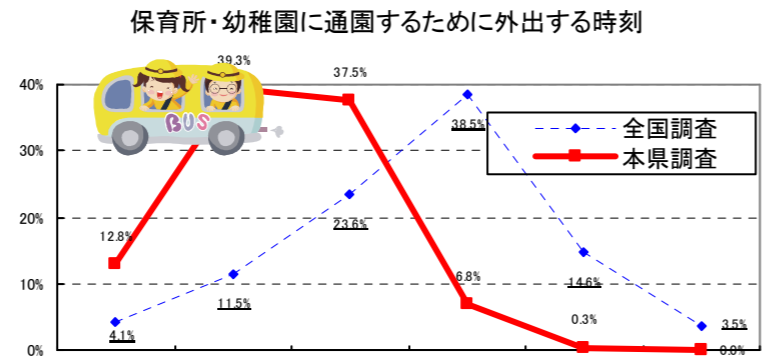
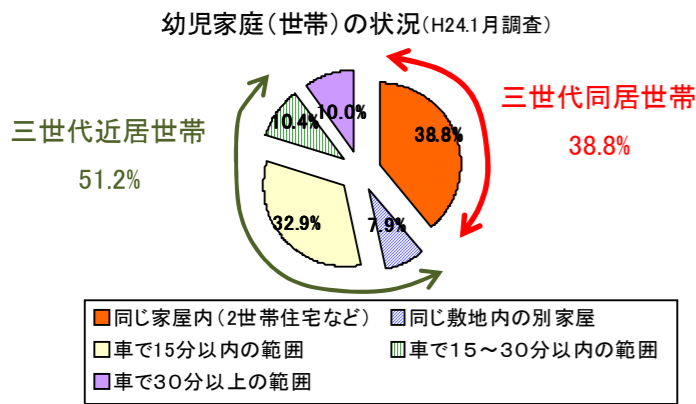


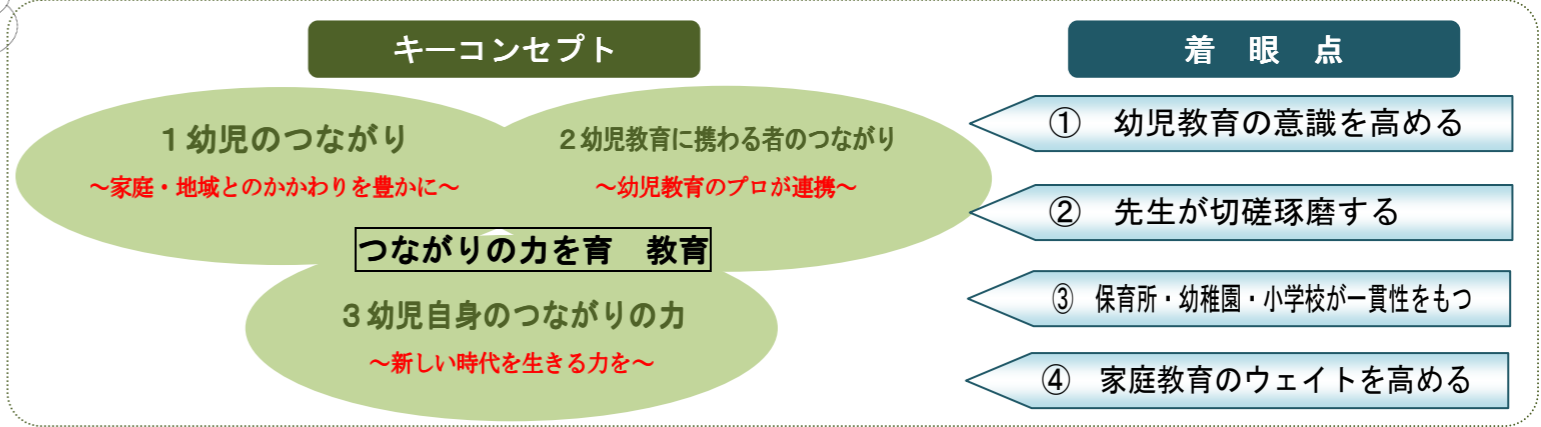
福井県幼児教育支援プログラム～中間とりまとめ案～の概要

I 本県幼児教育の現状 ～9割が三世帯同居・近居、長時間の園生活～



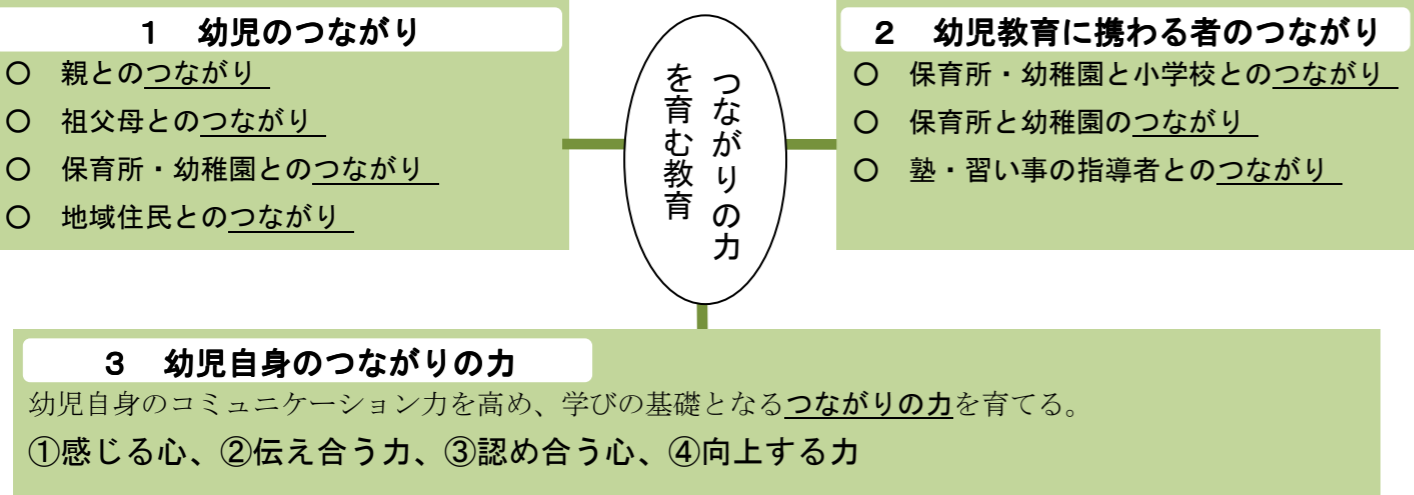
2 “つながりの力”による具体的な施策展開のための着眼点

- ① 幼児教育への意識を高める
 - 保護者をはじめ県民に広く幼児教育の意義と重要性を周知
 - 幼児教育を通して県民総ぐるみで幼児期の子どもたちを育む機運を醸成
- ② 先生が切磋琢磨する
 - 先生もその意欲や自主性に従い、幼児教育の向上に向けたスキルアップをできる環境を整備
- ③ 保育所・幼稚園・小学校が一貫性をもつ
 - いわゆる小1プロブレムなどの課題解決や、異なる位置付け、文化を持つ保幼小の融合
 - 融合により、新たな“気付き”を幼児教育の向上につなげるために、新たな保幼小連携を推進
- ④ 家庭教育のウェイトを高める
 - 家庭教育のレベルアップを応援して、保育所・幼稚園への過度の依存を軽減



II 基本的な考え方 ～つながりの力を原動力に～

1 幼児教育支援プログラムのキーコンセプト ～福井の絆を幼児教育に～



III 幼児教育支援プログラムに掲げる施策

幼児教育に携わる者のつながり ～幼児教育のプロの連携～

- ① スタート・アプローチカリキュラムの作成
 - 「保幼小連携のためのスタート・アプローチカリキュラム指針(仮称)」の作成
基本的な考え方や方針を内容とする県指針の作成
 - 小学校がリーダーとなってスタートカリキュラムを作成
これを受けて、保育所・幼稚園では年長(5歳)児を対象とするアプローチカリキュラムを作成

